

第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1)

提出日	R5.6.23
担当課名	政策推進課
グループ名	地方創生室グループ
記入者名	

1 事業概要

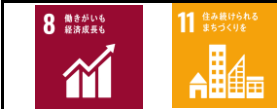
(1)事業名	ひとづくり×SDGsプロジェクト推進事業費	(2)事業種別 (新規・継続)	継続	(3)事業性格 (政策・一般)	政策事業
(4)第5次総振での位置づけ	(5)予算・財源等の別				
①基本目標	人が輝くまち(参加と協働の推進)	①会計区分	一般会計		
②大項目	協働・共助	②財源区分	国補助		
③中項目	町民参加の充実	③予算科目	款	項	目
④施策	官民連携	④予算事業名	ひとづくり×SDGsプロジェクト推進事業費		
⑤施策コード	1.2.2.2	掲載ページ	23	ページ	
(6)実施根拠	(7)総合戦略				
①事務分類(自治・受託)	自治事務	①総合戦略 (該当事業名)	ひとづくり×SDGsプロジェクト推進事業費		
②根拠法令	地域再生法	③事業期間	開始	令和2年	4月から
③事業期間	終了	未定	年	月	まで

2 事業の目的・対象及び内容

(1)目的(何のために行うか)	(3)手段(内容・どのような取り組みか)		
小川町版ひとづくりコーディネーター業務の委託を通し、第2期総合戦略で掲げる「人口減少に負けない魅力あるまちづくり」の実現を目指すことを目的とする。	①まちづくり・地域活性化等に主体的に取り組むNPO団体等の「民」における横の繋がり(プラットフォーム)の構築及び強化を目指し、当該目的に資する取組の企画・運営及びコーディネートを実施。 ②「人材×事業」のマッチング等により、若い世代の知恵や柔軟な発想を最大限活かした事業等の企画・運営を積極的に支援。		
(2)対象(誰に対して、何に対して行うか)	(4)成果イメージ(どのような状態になることを目指すか)		
まちづくり・地域活性化等に主体的に取り組む「民」のほか、当町の将来を真剣に考える意欲のある人材(町外在住者も含む)	若い世代の知恵や柔軟な発想による調和のとれたまちづくりを推進することで、転出超過傾向が改善されるとともに、関係人口の創出や小川町らしいSDGsの実現が図られる。		
対象数	プラットフォーム登録者数	単位	人

(5)事業を取り巻く環境(社会環境、町民ニーズ等)、団体、議会等からの要望など
 当町では20代前半から30代前半の若い世代の転出超過傾向が特に顕著であり、このことが総人口の減少に直結していると言える。若い世代に焦点を当てた人材育成に取り組むことは、同世代が共感できる魅力的なまちづくりに資するものであり、関係人口の増加や若い世代の転入増によるにぎわいの創出に寄与する。また、2015年の国連サミットで採択されたSDGsの実現に向け、地方自治体でも取組を推進することが求められており、当町でも第5次総合振興計画後期基本計画に盛り込むなど、SDGsに対する機運が高まりつつある。

(6)SDGsへの貢献



3 事業のコスト(実績・予算・決算) (単位:千円)

項目	(1)事業(内容)名称					
	ひとづくり×SDGsプロジェクト推進事業費					
	決算・予算年度	R元年度決算	R2年度決算	R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算
(2)事業費内訳	委託料		5,400	3,900	3,500	0
	負担金補助及び交付金		991	1,617	3,070	1,300
	役務費		0	0	0	919
			0	0	0	0
	その他		0	0	0	0
	直接事業費合計	0	6,391	5,517	6,570	2,219
(3)財源内訳	国庫支出金		3,195	4,481	3,284	0
	県支出金		0	0	0	0
	地方債		0	0	0	0
	その他特定財源		0	0	0	0
	一般財源		3,196	1,036	3,286	2,219
	合計	0	6,391	5,517	6,570	2,219
(4)補助金名	デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)					
(5)人件費						
	投入職員数		0.5	0.5	0.5	0.5
	年間人件費	0	3,820	3,814	3,771	3,849
(6)総事業費		0	10,211	9,331	10,341	6,068
	サービス量(人)		161	199	210	210
	サービス単価		63.4	46.9	49.2	28.9
	(単位)	千円/プラットフォーム登録者1人あたり				

4 指標の検証(活動指標・成果指標)		ひとづくり×SDGsプロジェクト推進事業費				
指標名		単位	R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算積算	
(1)活動指標(実施した事業の量:回数、延長、面積等)						
指標名	セミナー等開催回数	目標値	回	4	3	-
		実績値	回	4	3	
		達成率	%	100.0	100.0	
	補助金交付団体数	目標値	団体	4	5	3
		実績値	団体	4	5	
		達成率	%	100.0	100.0	
(2)成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度:人数、世帯数、件数、団体数、コスト指標等)						
指標名	プラットフォーム登録者数	目標値	人	200	200	210
		実績値	人	199	210	
		達成率	%	99.5	105.0	
	おがわまちサポーター登録者数	目標値	人	2,000	3,000	9,500
		実績値	人	1,604	9,042	
		達成率	%	80.2	301.4	
(3)その他指標に現れない成果						
<p>セミナーを開催し、参加者同士による意見交換を行うことで、まちづくりについてともに考える場を提供することができた。また、セミナーの開催にあたっては幅広く参加の声掛けを行い、プラットフォーム登録者以外の方についても小川町に関心を持っていただくきっかけを作ることができた。</p>						
5 事業評価						
(1)項目別評価						
評価項目		評価		評価理由	評価した理由を選択してください。	
必要性	事業の必要性	2	1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	3	1 事業の実施が関係法令等で定められている 2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である 3 その他(町町における地方創生の取組みを進めるにあたり、プラットフォームを通じた横の繋がりの強化の必要性がある。)	
妥当性	実施主体の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	3	1 事業の主体が関係法令等で定められている 2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である 3 その他(プロポーザルを通じ、知識や経験を豊富に有する事業者を選定した。)	
	手段の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している 2 他に有効な代替手段が見当たらない 3 その他()	
効率性	コスト効率性 人員の効率性	1	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	2	1 サービス単価は減少している 2 サービス単価を維持している 3 その他()	
公平性	受益者の偏り	2	1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	3	1 公平に分配されている 2 おおむね公平に分配されている 3 その他(関係人口等の創出を目的としているため、外向きの事業実施の傾向になりやすい。)	
有効性	成果の向上	2	1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	2	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている 2 成果指標は、前年度より向上している 3 その他()	
進捗度	事業の進捗	2	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	1	1 年度内に予定した事業は完了した 2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した 3 その他()	
(2)総合評価(上記結果を踏まえて、問題点や課題を記載してください。)						
<p>多様な人材が集まる場となるプラットフォームへの登録者数は210名となり、成果を残すことができた。引き続き、プラットフォームの登録者数を維持するとともに、プラットフォーム内の繋がりを強化していきたい。一方で、民による事業の実施については、メンバーの入れ替わりが多く、実施主体メンバーによる自主を図ることができなかった。そのため、既存の団体にも補助をする等、自主的・継続的に本事業を行う仕組み作りをする等の課題がある。</p>						
6 事業の方向性の判断		1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合				
評価主体	(1)一次評価 (担当課長)	(2)二次評価 (政策推進課長)	(3)最終評価 (町長)			
評価	2					
説明	住民参加によるまちづくりの機会を継続して提供していく。					